

商工会 NEWS

Fukuoka-Pref.

令和7年 **5月** 523号
(隔月発行)



ご利用ください!! 商工会

創業前やビジネス拡大時に、何でもご相談を

- ◎事業計画策定、補助金申請、展示会出展etc.
- ◎福岡県商工女性主張のつどい(結成55周年記念事業)
- ◎県商工会連合会LINE公式アカウント友達募集のお知らせ

【取材協力】 博多豚骨一歩、toyoshop、UP STAGE FITNESS、24FARM、(株)菓樹、(株)鳥越ネットワーク



店主の森山裕公さん



Instagram

人気店が持続化補助金活用し看板設置 5カ月連続で過去最高売り上げ更新中

有名ラーメン店で修業した森山裕公さんは2023年12月、県道31号沿いに「博多豚骨一歩」をオープンした。同店は、平日はサラリーマン、週末は家族連れでにぎわう。

森山さんは開業前に春日市商工会を訪ね、創業計画書の作成支援を受けた。春日市商工会の坂道麗子経営指導員は「森山さんのプランは原価率からオペレーションに必要な人数まで、具体的な数字が明確でした」と振り返る。その森山さんのプランに沿って、坂道指導員と中小企業診断士が伴走で計画作成をサポートした。

商工会を訪ねる前に金融機関に融資の申し込みを済ませていた森山さん。作成支援を受けた直後に設備資金の調達にも成功。内装工事や厨房機器の購入などに充てた。ただ、道路沿いに設置する予定だった看板の費用までは賄うことはできず、一旦は未設置のまま開業した。

店舗は開業直後から行列ができるほどの人気

で、順調なスタートを切った。オープンから3カ月後の2024年3月、森山さんは、新メニューで焼きめしを導入することを決意。これに合わせて看板も設置することにし、そのために商工会から小規模事業者持続化補助金(創業枠)の申請サポートを受けた。申請後に200万円の補助金が採択され、同年夏から10月にかけて看板設置工事を実施。県道を通る自動車から見やすいように、看板デザインはシンプルにし、店名と共に「らーめん・焼きめし」と大きく記した。

同店はその後、11月から5カ月連続で月間売り上げの最高記録を更新中だ。1番人気のメニューはラーメンと焼きめしのセット。森山さんは「看板の効果は大いにあると思う」と笑みを見せる。「飲食店は元気を与える場所だと思います」と森山さん。「今後も目の前のお客様を大切に、喜んでもらいたい。それだけです」と力を込めた。



1



2



3

- 1 県道31号沿い、春日公園近くにある同店
- 2 道路沿いに設置した看板
- 3 人気の「らーめん」と「焼きめし」

博多豚骨一歩

店主 森山 裕公

事業内容 ラーメン店

創業 2023(令和5)年12月

スタッフ 20名(パート・アルバイト含む)

住所 春日市原町1丁目87

Tel 092-558-7683



春日市商工会／経営指導員 坂道 麗子

「博多豚骨一歩」は創業してからすぐに繁盛店になりました。これはとても珍しいことです。店主の森山さんが開業前から綿密な計画を持っていたことも要因だと思います。また森山さんは、地域に貢献し、地元を盛り上げたいという思いも強いです。店舗の外壁にも「春日市に熱気を」と掲げています。将来的には2号店も検討したいということなので、それが実現できるようにサポートしていきたいと思っています。



代表の澤田優子さん(左)と横田健一経営指導員

意見書付き融資申し込みで満額調達 仕入量増え売り上げ拡大

アパレル業界出身の澤田優子さんは2023年9月からネット通販を営み、Amazonでスニーカーや日用品、お菓子などを販売している。

初年度は実質3カ月だったものの、売上高は一般的に言われているネット通販の売り上げレベルを大きく上回った。翌2024年は7月までで平均月商が前年度と比べて4倍以上となった。しかしながら、売上げが拡大する一方で運転資金は乏しく、仕入れの量に限界があった。「仕入れを増やすことができれば売り上げももっと増やせる」と考えた澤田さんは金融機関に融資を相談するも断られた。そこで同年8月に融資相談のため地元の那珂川市商工会を訪ねた。

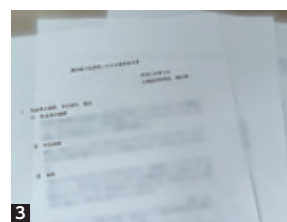
対応した横田健一経営指導員が澤田さんから話を詳しく聞くと、▽メーカーの公式サイト等からセールで安く仕入れている▽Amazon出品者が閲覧可能な売れ筋データを毎日数時間チェックし、何が売れているかをリサーチして

いる▽カタログと呼ばれる出品者専用ページを多数持ち、そこでの独占販売が売り上げに貢献している、といったことが強みだと分かった。

運転資金さえあれば、売り上げはさらに拡大すると予測した横田指導員は、日本政策金融公庫への融資申し込みをサポート。澤田さんの強みやこれまでの実績、今後の見通しなどをまとめた独自の融資意見書を用意した。

これらの支援を受けて、澤田さんは同年9月に500万円の融資を満額で調達した。「仕入れの量を増やせましたし、従来より長く在庫を持てるようになり、取扱商品の幅も広がっています」。その結果、2024年度売上高は融資が決まる以前の見込みより2割増収となった。

2025年4月には、商工会の強力な支援により公庫から再び500万円の融資調達に成功。さらに売り上げが伸びる見通しだ。澤田さんは「将来は1億円プレーヤーを目指したいです」と意気込む。



①メインで販売しているスニーカー ②澤田さんが設けているカタログページ ③横田指導員が作成した融資意見書

toyoshop (トヨショップ)
代表 澤田 優子

事業内容 ネット通販
創 業 2023(令和5)年9月
スタッフ 2名



那珂川市商工会／経営指導員 横田 健一

私はこれまでもネット通販を営む人を見てきましたが、失敗している例も多いです。その半面、澤田さんは成長する見込みが高いと感じました。月商15万円程度でも良いほうだと言われるネット通販において、澤田さんの売上規模は抜きんでいます。徹底したリサーチで、ユーザーの欲しいものに寄り添った結果、リピーターを獲得しているからです。「1億円プレーヤー」という目標も夢ではありません。創業から1年半でスタッフも2名雇っており、地元の雇用創出にも貢献しています。



HP



Instagram



代表の武田大輝さん(中央)と優菜夫人(右)、高田裕貴経営指導員(左)

マンツーマン指導で創業前に綿密な計画立案 開業1年目で顧客獲得目標クリア

2024年1月にオープンしたUP STAGE FITNESS。代表の武田大輝さんは開業の5カ月前から商工会の創業支援を受けていた。

武田さんは元自衛官で、自衛隊勤務時代にジム経営の夢を抱き、自身でもフィジーク(上半身のボディバランスとファッション性を競う競技)に挑戦。当時の勤務先に近い大分県由布市のT S U D Aトレーニングジム(津田貴之代表)に通っていた。武田さんがジムを開く目標があることを津田氏に語ると、津田氏が由布市商工会の会員だったこともあり、商工会に相談することを勧められ、武田さんは2023年8月に地元にあった久留米南部商工会を訪ねた。

同年9月の自衛官退官と同時期に、武田さんは同商工会の創業塾に参加。約2カ月の間、週に1回、マンツーマンで高田裕貴経営指導員から商圏や顧客ターゲットの設定、売り上げの試算などの指導を受けた。また商工会が派遣し

た中小企業診断士のサポートを受けて事業計画も策定。このほか商工会のあっせんで日本政策金融公庫と地場金融機関からそれぞれ500万円を融資で調達することができ、トレーニング機器の購入費や内装工事費に充てた。

店舗は武田さんの故郷である八女市に構えた。地元市民のほか広川町、大川市などからの来店もあり、20～40代を中心に小中学生もいる。「初心者に優しいジム」をモットーにする武田さんは「何気ない話から時には専門的な指導まで、お客様とのコミュニケーションを大切にしています」と語る。そのため、利用客からは「ジムの雰囲気がいい」と評判だ。顧客数も目標を上回っており、中でもオプション扱いでなく月額制にしたパーソナルプランが割安感もあり人気で、3割の顧客が利用する。結果的に全体の客単価も押し上げた。2025年度は引き続き顧客獲得に力を入れ、26年度に増床も検討する。



1 八女市役所そばにある店舗
2 海外製の器具もある店内
3 久留米南部商工会の新年賀詞交歓会で名刺を交換する武田さん(右)

UP STAGE FITNESS
(アップステージフィットネス)
代表 武田 大輝

事業内容 フィットネスジム運営

創業 2024(令和6)年1月

スタッフ 1名

住所 八女市本村425-107

Tel 0943-41-0191



久留米南部商工会／経営指導員 高田 裕貴

武田さんはフィジークの西日本選手権で4位になるなど複数の大会で好成績を収めています。T S U D Aトレーニングジムの津田代表からもジム経営について学び、当商工会を訪ねた当初から「初心者に優しく」や「コミュニケーション重視」といった方向性は持っていました。融資の申し込みにおいては、武田さんが創業塾や事業計画策定など商工会の支援を受けたうえだったので金融機関にも本気度が伝わったと思います。このほか当商工会の新年賀詞交歓会にも参加していただき、人脈づくりに役立ててもらいました。

「協調支援型特別保証制度」について

保証付き融資とプロパー融資※を同時実行する等、一定の要件を満たすことで、国から最大1/2相当の保証料の補助を受けることができる「協調支援型特別保証制度」の取扱いを令和7年3月14日から行っています。

要件等の詳細につきましては、当協会ホームページからご覧ください。

※プロパー融資とは、保証協会の保証を付さない融資となります



中小企業のベストパートナー
福岡県信用保証協会

お客様相談
フリーダイヤル

0120-112-249
<https://www.fukuoka-cgc.or.jp/>





ショップHP



Instagram



代表の西聡さん(左)と加藤麻衣経営指導員

商工会の支援で展示会に出展 来場者アンケートを商品化に生かす

葉物野菜を栽培する24 FARM(ニシファーム)は2024年5月、小松菜を練り込んだペーストと鴨のミンチ肉を使用したオリジナルの「福鴨ん(ふくカモン)カレー」を商品化した。

代表の西聡さんは先輩経営者の誘いを受けて2014年に小郡市商工会に入会。青年部にも所属して熱心に活動してきた。現在は副部長を務める。

小郡市商工会は小郡市とともに、2022年から「鴨のまちプロジェクト」に取り組んでいた。小郡は市内に鴨の飛来地があり、古くから鴨肉を食べる文化があった。その文化継承と鴨肉を使った特産品開発が目的だった。同プロジェクトの一環で2023年春、加藤麻衣経営指導員が西さんに鴨肉を使った加工品開発を提案し、西さんも賛同した。

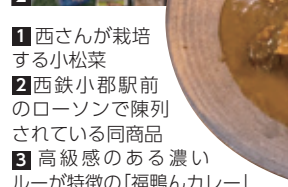
開発期間中は商工会が派遣したフードコーディネーターや中小企業診断士も加わって、味はもちろん、どういうパッケージデザインにす

るか、またどの程度の価格で販売するかなどについて議論を重ねた。試行錯誤の結果、同年12月に試作品が完成した。

2024年1月には、商工会による伴走型補助金を活用した支援を受けて「FOOD STYLE Kansai 2024」に出展。ブースを訪れたバイヤーにパッケージデザインと販売価格についてアンケートを実施し、実際の商品に反映させることにした。

完成した「福鴨んカレー」は、スパイスが効いているものの、子どもも食べやすい味に仕上がっている。パッケージは小松菜を描いて深い緑色にし、価格は648円(税込み)に設定した。

約2400食分を製造し、イオン小郡ショッピングセンターや西鉄小郡駅前のローソンなどで販売している。売れ行きは好調で、当初は2年をかけて売り切る計画だったが、早まりそうだという。西さんは「今後も販路を広げていきたいです」と意気込む。



1 西さんが栽培する小松菜
2 西鉄小郡駅前のローソンで陳列されている同商品
3 高級感のある濃いルーが特徴の「福鴨んカレー」

24 FARM(ニシファーム)
代表 西聡

事業内容	農産物栽培
創業	2014(平成26)年8月
スタッフ	2名
住所	小郡市小郡604-7
TEL	0942-72-2513



小郡市商工会／経営指導員 加藤 麻衣

西さんは以前から加工品を開発したいという意欲を持っていました。今回のカレーは、フードコーディネーターのアドバイスを基に、高級感を出すためにルーの色やパッケージにもこだわりました。今後も取扱店が増えるようにさまざまな支援をしていきたいと思えます。また西さんは商工会青年部で長く活動しているので、青年部のネットワークを使った販路拡大にも期待しています。

「急な運転資金が必要だ」、「店舗改装の借入がしたい」など
事業に関する融資全般のご相談をお受けします！

ふくぎん法人ビジネスサポートセンター

☎0120-279-005

午前9時から午後5時45分(土日、祝祭日、12月31日から1月3日を除く)
ご相談の内容によっては「ふくぎん法人ビジネスサポートセンター」でのお取扱いができません場合がございます。

あなたのいちばんに。
ふくおかフィナンシャルグループ

福岡銀行

DÔCORE
ふくおか 商工会 ショップ

福岡県の逸品の数々を、全国の皆様にお届けします。

**福岡県
よかもんショップ**
楽天市場ウェブサイトにて

どおこれ

QRコード

出店中
QRコードから



代表の西川清和さん

安本諭経営指導員



事業承継に伴う法人化 持続化補助金創業枠を活用し、販路拡大に成功

スープカレーと地元産フルーツを使ったスイーツが評判の「ナチュラルファーム菓樹」。西川清和代表の母・光恵さんが2005年に創業し、店舗は2025年3月、オープン20周年を迎えた。

「17年ほど前、フードコーディネーターをしている叔父のアドバイスでスープカレーを始めたところ、老若男女の幅広いお客さまから支持されるようになりました」

カフェ裏手のイチゴ農園で栽培する、採れたてイチゴを使った生菓子やジュースも人気だ。当初イチゴ農園は清和代表が担当していたがスープカレー店が忙しくなったため、母と兄が切り盛りする店を手伝うようになった。その後、兄は独立して2019年、福岡市中央区薬院に姉妹店をオープン。こちらも人気店となっている。

●法人化に伴って、創業者枠を効果的に活用

3年前、清和さんは常連客でもある安本指導員に、事業承継と冷凍スープカレーの開発と販

売について相談した。

「コロナ禍を機にテイクアウトも始めましたが、遠来のお客さまに気軽に持ち帰ってもらうには冷凍の方が良い。時間を気にせずいつでも買える自販機設置を考えました」

安本指導員は事業承継と法人化を組み合わせ補助金を活用できないか検討し、持続化補助金とともに、国が産業競争力強化法に基づいて進める「特定創業支援等事業」の創業枠(補助上限200万)活用を提案。清和さんは月4回各2時間のセミナー(財務・販路開拓・人材育成・事業計画)を受講し、真空パック機と自販機の設置費用、広告経費などを申請し、採択された。

「自販機の売れ行きは期待以上です。昨年夏から上毛町のふるさと納税返礼品としても全国の皆さんにお届けできるようになりました」

販路も整い、オリジナリティあふれるスープカレーがさらに多くのファンを生み出していく。



1 農園野菜たっぷりの石鍋スープカレーはずっと熱々で食べられる 2 3 採れたてイチゴが多彩なスイーツに 4 駐車場の一角に設置した自販機

株式会社 菓樹	
〈ナチュラルファーム菓樹〉	
代表取締役 西川 清和	
事業内容	カフェ経営、洋菓子販売
創業	2005(平成17)年3月
スタッフ	10名
住所	筑上郡上毛町大字吉岡609-13
TEL	0979-72-2410



上毛町商工会／経営指導員 安本 諭

私は清和さんのスープカレーの大ファンで、家族でよく利用させてもらいます。当初から清和さんの「自販機で冷凍スープカレーを販売したい」という思いが明確だったので、法人化に伴う創業枠の活用という具体的な提案ができました。数年前から店の運営は実質的に清和さんが担われていましたが、セミナー受講を通してあらためて経営に必要な知識を整理できたそうです。タブレット注文の導入や積極的なSNS発信など、いろんな構想をお持ちのようなので、これからももしっかり支援しようと思っています。

後継者がいない

会社の合併や買収について聞きたい

事業を引き継いで起業したい

承継方法がわからない

事業承継に悩むすべての中小企業を
全力でサポートします！

お早めの相談が解決の早道です！

あらゆる事業承継について、お気軽にご相談ください。

M&A マッチングのサポート

後継者人材バンクの活用

事業承継計画の策定支援

専門家による的確なアドバイス

福岡県事業承継・引継ぎ支援センター

福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号
福岡商工会議所ビル8階

TEL: 092-441-6922
<https://fukuoka-hikitsugi.go.jp>

相談無料：月曜日～金曜日（祝日除く）9:00～17:00



野見山英俊経営指導員

代表の鳥越耕輔さん



1

有機農業を実践して50年 〝しあわせに生きていく、農業を追求する〟

農薬や化学肥料を大量使用する農業のあり方に疑問を抱いていた先代の鳥越和廣さんは、1980年、有機農業への転換を決意した。約半世紀が経過した今、セロリやトマトなど滋味あふれる有機野菜を手し、その判断が間違っていなかったと現代表の耕輔さんは実感している。

同社の経営理念は「農業でしあわせに生きていく」。作る人も、食べる人も幸せを実感できる農業経営をめざして、これまでも農業を取り巻く社会課題に取り組んできた。

「減反政策下における米作り農家の経営改革、耕作放棄地の対策、消費者との直販体制の整備など、それぞれの課題に応じて関連団体や組合を組織し、課題解決に取り組んでいます」

農業は人材確保が不可欠だが、圃場の拡大に伴って地域雇用を創出。外国人材も積極的に登用し、採用が厳しい時代だが人材確保には苦労していない。現在3割強が日本在住や技能実

習生のベトナム人で、生産現場だけでなく事務も任せ、若く活気ある職場を実現している。

●商談会出展や事業承継できめ細かに支援

先代の頃から商工会との距離は近く、補助金等の申請支援や経営革新計画立案、事業承継に伴う専門家派遣など、あらゆる場面で関わりを深めてきた。青年部の副部長でもある耕輔さんは日頃から野見山指導員に何でも相談し、互いの間には確かな信頼関係が生まれている。

「トマト加工品の販売促進で出展した商談会でのきめ細かなサポートや、父からの事業承継に関する的確なアドバイスと専門家派遣など、野見山さんにはいつも助けてもらっています」

今後は、商工会会員間の連携による新商品や販路拡大、また、母国に帰国して起業した技能実習生との海外事業など、新たなビジョンを描く耕輔さんは、野見山指導員との二人三脚で、着実にビジョンを具現化していく。



1 若い仲間が中心の活気ある農場 2 加工品のトマトケチャップやトマトジャムの人気も高い 3 稲刈り体験などさまざまなイベントを企画

株式会社 鳥越ネットワーク	
代表取締役社長 鳥越 耕輔	
事業内容	農作物の生産・加工・卸売
創業	1975(昭和50)年10月
スタッフ	30名
住所	田川郡赤村内田306
TEL	0947-62-3349



赤村商工会／経営指導員 野見山 英俊

鳥越農園の圃場はすべて有機JAS認証を取得しており、農作物や加工品はその信頼性の高さからグリーンコープ生協や有名百貨店で取り扱われています。個人客への宅配やWEB直販など、販路も着実に拡大中です。何より、九州一円の志を同じくする生産者との強いネットワークは、先代と耕輔さんが熱心に築いてきた財産です。地域雇用の創出や外国人材の積極登用、赤村ブランドの加工品など、地域や社会への貢献意識が非常に高く、時代を先取りしたSDGs経営を実践されている素晴らしい事業所です。

資金調達
どうしよう？

創業
計画書って
どう作れば
いいの？

事業者の皆さまのご相談に専門スタッフが応えます！

ビジネスサポートセンター

相談内容 創業資金 事業拡大の資金 販路拡大

事業の悩みを
解決
できます！

福岡 TEL 0120-713-817

北九州 TEL 0120-055-817

営業時間 平日9:00～17:00
(土日祝、12月31日～1月3日除く)

インターネットからの
ご相談はコチラ

西日本FH

ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行

令和6年度 福岡県商工女性主張のつどい(福岡県商工会女性部連合会結成55周年記念事業)

2月26日(水)、「令和6年度福岡県商工女性主張のつどい(福岡県商工会女性部連合会結成55周年記念事業)」を、中小企業振興センター2階大ホールで開催しました。



ギターの演奏も行った、真野秀慈氏の住職 真野秀慈氏



午前中の記念事業では、真教寺の住職・真野秀慈氏が「心豊かに生きるヒント! (無財の七施)」をテーマに講演されました。参加者からは「自身の生き方を見直し、幸せに生きるヒントを得ることができた」等、多くの意見が上がりました。

続いて、午後からは「主張のつどい」を開催し、各地区から選出された4名の女性部員が、日

ごろの女性部活動や地域振興の取り組みについて、事例を交えてイキイキと発表しました。

【発表者は以下のとおり(発表順)】

- ① 北九州地区代表 吉富町商工会女性部 向野淑恵さん
 - ② 筑後地区代表 みやま市商工会女性部 相島ミカさん
 - ③ 福岡地区代表 篠栗町商工会女性部 山本美幸さん
 - ④ 筑豊地区代表 添田町商工会女性部 角谷友子さん
- 最優秀賞には筑後地区代表 みやま市商工会女性部 相島ミカさんが選ばれました。

主張発表の審査の間、全国商工会連合会組織支援課長が「商工会を取り巻く環境及び中央情勢について」をテーマに講演しました。参加者からは「国の支援施策等を学ぶことができた」という感想が多く、本日の学びを今後の事業や女性部活動に活かすことを誓い合いました。



菊地裕子会長のあいさつ



最優秀賞を受賞した、みやま市商工会女性部の相島ミカさん



発表者(左から)吉富町商工会 向野淑恵さん、みやま市商工会 相島ミカさん、篠栗町商工会 山本美幸さん、添田町商工会 角谷友子さん

福岡県
商工会連合会

LINE公式
アカウント

友達募集中!

福岡県商工会連合会では、

LINEお友だち登録していただいた方に、

- ✓ 補助金や助成金のご案内、
 - ✓ 商工会事業の紹介やイベントの開催案内など、
 - ✓ 福岡周辺で事業をされる方が見逃せない
- 最新情報を定期的に配信していきます。

ぜひお友だち登録を!!

@kenren7708

友だち
募集中

LINE 公式アカウント



LINEの「友だち追加」から、
ID検索するか
QRコードをスキャンしてください